



| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | アールプラン横浜仲町台 | 階数 | 地上7F |
| 建設地 | 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目2番1外 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第二種中高層住居専用地域、第二種住 | 平均居住人員 | 520 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年12月 竣工 | 評価の実施日 | 2017年3月1日 |
| 敷地面積 | 5,241 m ² | 作成者 | 岸 毅明 |
| 建築面積 | 2,245 m ² | 確認日 | 2017年3月1日 |
| 延床面積 | 10,968 m ² | 確認者 | 横山 潤治 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 62%

③上記+②以外の 62%

④上記+ 62%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2 **LR のスコア = 3.5**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

| | |
|-------|-----|
| 音環境 | 3.1 |
| 温熱環境 | 3.7 |
| 光・視環境 | 3.2 |
| 空気質環境 | 3.6 |

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

| | |
|---------|-----|
| 機能性 | 4.0 |
| 耐用性・信頼性 | 2.9 |
| 対応性・更新性 | 2.8 |

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

| | |
|-----------|-----|
| 生物環境 | 3.0 |
| まちなみ・景観 | 3.0 |
| 地域性・アメニティ | 2.5 |

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

| | |
|-----------|-----|
| 建物外皮の熱負荷 | 4.0 |
| 自然エネルギー | 3.0 |
| 設備システム効率化 | 4.4 |
| 効率的運用 | 3.6 |

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

| | |
|------------|-----|
| 水資源保護 | 2.2 |
| 非再生材料の使用削減 | 2.9 |
| 汚染物質回避 | 3.3 |

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

| | |
|-----------|-----|
| 地球温暖化への配慮 | 4.5 |
| 地域環境への配慮 | 3.0 |
| 周辺環境への配慮 | 3.0 |

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|--|---|---|
| 総合 ・道路沿いにまとまった緑地帯を設けることで周辺環境への配慮や地域緑化への貢献を目指す。また、建物については周辺環境に合った形状、外観デザインとするためにマリオンやガラス手摺を用いて整理を図った。 | | |
| Q1 室内環境 ・断熱性能等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用。 | Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 | Q3 室外環境 (敷地内) ・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザインとし、景観創出に努めた。 |
| LR1 エネルギー ・潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図るとともに、断熱性能等級4相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。 | LR2 資源・マテリアル ・環境負荷の抑制を促進し、地球環境負荷の低減を図る。 | LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮する。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



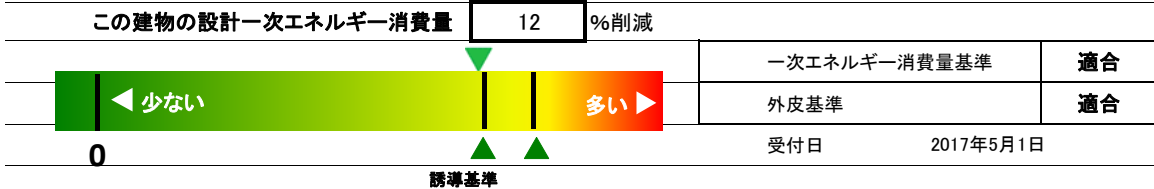
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **アールプラン横浜仲町台**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①日本住宅性能表示基準 断熱等性能等級4相当
- ③BEI=0.88
- ④エネルギー採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

- ◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

- ⑥F☆☆☆☆・VOCの放散量が極めて少ない部材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

- ◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑯住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を取得
- ⑰ビニルクロス貼20年で評価、フローリング20年で評価
- ⑮給水管:一般配管用ステンレス鋼管(C) 汚水立管:給排水用鋳鉄管(A)
- ⑮雑排水管:給排水用鋳鉄管(A) 消火管:配管用炭素鋼鋼管(C)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

| | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 太陽光発電などの導入 | 環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外) |
| — | |
| エネルギーマネジメントシステム導入 | |
| — — — | |